

鶴岡ロータリークラブ会報

845

1976-3-2 No.36

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 勲

◆ 点 鐘

◆ 君ヶ代斉唱・ロータリーソング（奉仕の理想）

◆ ビジター・ゲスト紹介

◆ 会員誕生・会員奥様誕生（後述）

◆ 年間・月間皆出席者報告（後述）

◆ 新会員 迎田 稔君（迎田歯科医院長）紹介（紹介者 石黒慶之助君）

◆ 会長報告

❖ 2月22日（日）～ ボーイスカウト山形県連盟庄内地区25周年記念式典に参列……
感謝状受領

❖ 2月29日～ RAC老人ホーム「友江荘」訪問し、映画と人形劇で慰問……社会奉仕委員
ご苦労様でした。

❖ 交換学生 伊藤久美さんよりお便り……（後記）

❖ 2月18日開催の庄内分区会長、幹事会の協議で、本年8月に県内公演されるノルウェー
女性合唱団の受入に付き話し合い、鶴岡RCでは8月11日に実施することを基本的に理
事会で諒承しました。

❖ 新会員の委員会所属

角田 博 君 会報委員

中村 富昭 君 SAA

内山 喜一 君 SAAを会報委員に変更

◆ 幹事報告

◆ 会員スピーチ 早坂源四郎P.G 「ロータリーの創立」（後述）

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を！

ロータリーの創立

早坂源四郎

ロータリーの歴史の話とのご註文でしたので、断片的になりますが、ポール・ハリスの話を中心にして進めて行きたいと思います。

ロータリーの創立者ポール・ハリスが生まれたのは1868年(明治2年)で、3才の時、父親が事業に失敗し遠くニューイングランドのバーモント州のウォーリングフォードに住む祖父父母の許に引取られたのです。孤独で多感な、腕白少年であった彼は、唯一の親友フエイが精神病院で死んだ時非常なショックを受けました。後年彼はこの赤毛の少年の事を想い、『ロータリーの基礎は友情である。若し人々が友情を思う時があったら、御影石の丘に眠るこの赤毛の少年を想って欲しい』と述べています。

彼が育ったウォーリングフォードは、ニューヨークの北東に当り、ニューイングランドの清教徒の土地であります。有名なグリーン・マウンテンと西方のアクロンダック山脈が望まれる山紫水明の地であります。彼は高等学校を出るとブラック・リバーアカデミーに入学したが、いたづらが過ぎて放校になり、バーモントの士官学校に入学し、更にバーモント大学に進んだが、無実の罪で再度の放校処分を受けました。更にプリンストン大学の立派な教授の個人指導を受けて(1888年)勉強し、またそこで大理石会社に働いて収入を得ました。この間に、祖父が死亡し(1888年)祖母の切なる希望で、アイオワ大学で法律を学んだのです。アイオワ大学で勉強中、慈愛深き唯一人の祖母がなくなり、この勉強が終わったら、色々な角度から、あらゆる都市を5ヶ年の間人生の経験を積んで勉強しようと深く決意しました。1891年(明治24年6月)24才で卒業したので。

それから彼の5ヶ年間の放浪生活が始まる。新聞記者、旅廻りの俳優、カウボーイ、果樹園の労働者、水夫になって、英国に2回も渡る。最後は彼を最も良く知るジョージ・クラークの大大理石販売の仕事を手伝い、信任を得るが、引き止める彼の手を払い、シカゴに出て行くのである。彼の放浪生活の中で、特に強く感じる事は、最悪の状態でも常に正々堂々と働いて生活した事である。

彼がシカゴで弁護士を開業した年は1896年(明治29年)で29才、米国中がひどい不景気で、シカゴは特に博覧会の過度の投資の反動で、極めてひどかった。町の商店やアパートは空室が目立ち、赤線地帯は全市を蔽い商業道徳は地に落ちていたのである。詐偽的行為の不正手段が横行し、商人は物を買おうと金を払わず夜逃げをして、その品物を裏町の倉庫に集めて、たたき売りする。証拠隠滅のため放火をする。従って弁護士の仕事は非常に忙しかった。商取引には常に疑いの目がもたれたのであり、シカゴ最悪の状態であったのであります。

然し1900年(明治33年)になりますと、景気は回復して来まして、これに伴って、一般社会状態も改善されて来る様になりました。その年のある夏の日、彼は友人の若い弁護士と一緒に散歩をした折、その友人が町のここかしこの商店を訪ね、実に親し気に話し合うのを見て、深い感銘を受けるのです。

ポールにも仕事の友人は居たが、仕事を離れての友人は居なかったのです。親しい友人を集めてクラブを作ったらどんなに楽しいだらうと思い、これを作る決心をしたのです。そして仕事の上で知り合いの石炭屋のシルベスター・シールに相談しその賛成を得まして、1905年(明治38年)2月23日の夜、ディアボーン街のユニテイ・ビル7階の鉱山技師ガスターバス・ローアの室で、洋服屋のハイラム・ショーレーを加えて4人が最初のロータリークラブを造るのであります。ここで注目すべきは、この4人共シカゴ育ちでなく何れも地方の田舎の小さな町や村から出て来た人々で、決して上流の人でなく、むしろ中級又は稍々それ以下の生活をして来た人々であります。そして彼等が何れも自主独立の精神の持主であり、それを実践していた人々であります。

初期のロータリーの創立が友情の基礎の上に築かれ、その主要な目標が相互扶助、物質的にも精神的にも会員同志が互いに助け合った事は事実であり、ポールハリスも之を認め『私は会員のビジネスの利益を求めて来たが、然しほんの僅かであるが、利己的でない傾向があった。それは、物を友人から貰う事より、物を与えると云う事であり、この考え方は友情と非常にうまく調和して行った』と述べています。更に彼は『ロータリーの魅力は友情であった。1905年に集ったこのグループ程、高い友情を持ったものは無かった。ロータリーは正に砂漠の中のオ

アシスであった』と云っています。そして初代会長には、石炭屋のシルベスター・シールが選ばれたのです。(ポール・ハリスは3代目の会長になりました。)そして当初から確定していた事は、一業一會員制であり、又出席に対する厳しい考え方でありました。欠席者には50セントの罰金を課して、之をクラブの経費にあてたと云っています。

当初のクラブの目標は、親睦を基礎に會員相互の扶助にありました事は申し上げましたが、これが段々と昇華されて、物質的、金銭的なものが消えて行きまして、精神的なもののみが残って行きました。そしてシカゴの町のためにも尽そうと云う社会的な考え方が強くなり、ポール・ハリスが3代目の会長になった時に定款の改正もされましたが、クラブの中で所謂奉仕派と親睦派との対立が深まったため、ハリラッグルスが、之を和らげるために提案した歌の合唱が始まったと云います。然しこの頃は世の中のために貢献しようとする漠然とした考え方だけで、未だサービズ奉仕というはっきりした言葉は出て来なかったのです。

1908年(明治41年)に2人の人材がシカゴクラブに入会して来ました。一人は後年R Iの初代事務総長になったチェスレー・ペリーであり、一人は最もよく奉仕する者、最も多く報いられる *He profits most who serves best* の標語を作ったアーサー・シュeldonであります。シュeldonはシカゴのビジネス・スクールの創立者であり、当時の販売学の大家であります。彼の残したこの標語は、先程申し述べたシカゴの荒廃した商業道徳の中で、誠心誠意取引先に奉仕した真面目な商人のみが不景気の中にも強く残っていた事実を見て、生れ出たと云われます。ミネアポリスの理髪店で散髪を終えて店を出た時、頭の中に電光の如くひらめいて出て来たと云います。

彼が正式にこの標語を発表したのは、1911年(明治44年)の8月オレゴン州のポートランドで開かれた大会の時であります。この時参加者は初めてサービスと云う言葉を聞いたのです。“ビジネスは人類の奉仕の科学の事である。Business is the science of human sevice”の言葉と共にこの標語が出て来たのです。

参会者はこの言葉に非常な感銘を受けました。ところが、この同じ大会で、新しく出来たミネアポリスのフランク・コリンズ会長が、“ロータリーは自己のためではない。奉仕だ、自己ではない。Service, Not Self”というスピーチをしたのです。この標語はご承知の様に *Service Above Self* 超我の奉仕と改められましたが、前者はあく迄実業倫理の道を説くに対し、後者は自己滅却の宗教的倫理観を説くものであって、今日まで続くロータリー内部の二つの大きな思考の流れである事を知らねばなりません。

つい先年も1971年R Iの理事会は、超我の奉仕を第一としシュeldonの最もよく奉仕する者最も多く報いられると云う標語を第2の公式標語とすべき案を提案しましたが、否決されたのであります。従って現在では、並列して公式標語になっている次第です。後者の標語は、*Profit 利得する* という言葉が常に問題にされるのですが、我国では“積善の家に余慶あり”“情は人のためならず”として説かれているのであります。

何れにせよ、アーサー・シュeldonがロータリーに明快な進路を示した事はまちがいありません。彼こそ正にロータリーの職業奉仕の理念の開拓者であります。この様にロータリーは職業奉仕の理念を中心として思想的展開をして行くのですが、更に1915年(大正4年)にはサンフランシスコ大会で、*The Code of Ethics for Business Men of All Lines* 全職業人に関する道徳律が議決されました。これは11ヶ条よりなる倫理訓で、正に今日に於ても適用出来る実業の道徳訓で、職業奉仕の基本理念を示すものであります。アイオワ州のシウ・シテイと云うクラブの委員会の努力の結果原案が作られたと云います。R Iはこの倫理訓を、ロータリーの綱領に重きを置くと言う考え方より、現在その出版を中止して居ります。更にその翌年フィラデルフィアのガイ・ガンディカーが“ロータリー通解”と云う書を出してロータリー思想の理論的解明をして居ります。

この様に、初期のロータリアンが創立者ポールハリスを初めとして、如何に真剣にロータリー哲学に取り組んでいたか、奉仕の理想の追及に、日夜懸念な努力をしていたかと云う事であります。

顧って現在私共の周囲は、創立者達の思考とは凡そ縁遠い汚濁の世界が展開されているのであります。ロータリーの世界でも、70年の歴史は異常な拡大をしましたが、反面その古き歴史は次第に失われつつあるのでないか。定款細則は整備されて来たが、その綱領の解明と追及は忘れられつつあるのでないかと反省される次第であります。

ロータリーは実践を尊び行動する事を強く求めています。然しながら行動する事を求めるのは、我々自身の人格であり、私共の心であります。私共は絶えず之を練磨せねばなりません。ロータリーはその機会を絶えず私共に与えてくれるのであります。

交換学生 伊藤久美さんよりの便り

拜啓 2月の半ばになったとはいふものの冷たい北風はまだ音をたててあたりを駆け巡っているようです。いかがお過ごしですか。こちらはアジアからの悪いインフルエンザが流行して多くの人が病気で困っています。

先日、ブラジルから2人新しい留学生がやってきました。英語を4年ほど勉強したとはいふものの会話の方はまだまだ辞書を片手に身振り手振りで相手に説明している姿を見ていたらアメリカに来たばかりの頃の自分の姿を思い出してしまいました。私の英語はまだ完全ではないけれどもいちいち日本語で考えなくとも口からボンボン単語が飛び出すほどに上達したこと本当にうれしく思っています。これもアメリカ留学をしたからこその上達ぶり、ロータリーの皆様感謝しております。

2度めの成績表わたされました。前回より少々よくなっているようです。次回もこの調子でと張り切っています。

では近況お知らせまで。 乱文乱筆にて

会員誕生

五十嵐伊市郎君、小松広穂君、皆川英二君、中野清吾君、齋藤栄作君、齋藤信義君、佐藤昇君、佐藤忠君、菅原啓君、手塚林治君、山本正君、横山昇君

奥様誕生

早坂保江様(徳治)、石川徳江様、五十嵐甲様(伊市郎)、嶺岸豊子様、齋藤貢様(栄作)、佐藤晴子様(衛)、佐藤喜代恵様(正郎)、佐藤恭子様(宇一)、高橋多恵子様(良士)

年間皆出席

3年間皆出席 板垣俊次君

2月125%出席 2名

黒谷君、小松君

2月100%出席 54名

皆川君、阿部(公)君、阿部(襄)君、安藤君、張君、早坂(源)君、飯白君、石井君、石黒君、五十嵐(三)君、五十嵐(伊)君、市川君、板垣君、海東君、玉城君、風間君、小花君、小池君、今野君、嶺岸君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、森田君、中江君、中野(重)君、中野(清)君、小野寺君、石川君、齋藤(栄)君、齋藤(得)君、齋藤(信)君、佐藤(忠)君、佐藤(順)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、鷺田(幸)君、笹原君、新穂君、菅君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、高橋(良)君、横山君、谷口君、手塚君、富樫君、上野君、鷺田(克)君、清水君、山本君、藪田、吉野君、山口君

出席報告

出席報告								
本日の出席	<table border="1"> <tr> <td>会員数</td> <td>73名</td> <td rowspan="3">欠席者</td> </tr> <tr> <td>出席数</td> <td>55名</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>75.34%</td> </tr> </table>	会員数	73名	欠席者	出席数	55名	出席率	75.34%
会員数	73名	欠席者						
出席数	55名							
出席率	75.34%							
前回の出席	<table border="1"> <tr> <td>前回出席率</td> <td>72.22%</td> <td rowspan="3">マークアップ</td> </tr> <tr> <td>修正出席数</td> <td>66名</td> </tr> <tr> <td>確定出席率</td> <td>91.67%</td> </tr> </table>	前回出席率	72.22%	マークアップ	修正出席数	66名	確定出席率	91.67%
前回出席率	72.22%	マークアップ						
修正出席数	66名							
確定出席率	91.67%							
ビジター	岡本悦衛君—東京王子RC 岡崎俊弥君、菊地勘君—山形南RC 滝禅源君—立川RC 阿宗健一郎君、羽根田正吉君—鶴岡西RC							